

研究だより

福山市立坪生小学校

2020年(令和2年)9月

NO. 4 研究部

文責：研究主任

9月17日(木) 校内研究授業まとめ

先日は、研究授業ありがとうございました。学年ごとの協議でしたが、準備の段階から学年でしっかり話をする事ができたと思います。自分のクラスではどのような子どもたちの様子が考えるか、また先生方の授業を受けてどのような活動ができるか改めて考えることができました。

授業参観の視点①主体的な子どもの様子や活動

②主体的な授業づくりのための教師の関わり方

【1年生 算数「たしざん」】

①

- 挿絵を提示し、ある程度の情報共有をしてから自由に問題作りに取り組んでいた。
- たしざんになる問題作りを全員が1つ以上作ることができた。
- 既習で作った10までのたしざんだけでなく、繰り上りや、3つの数の足し算の問題も作っていた。

②

- これからの学習で使うために、子どもの作った問題を座席表で見取り、意図的に取り上げた。数も途中で自由に考えてよいと投げかけた。



子どもの問題文を共有

【2年生 算数「三角形と四角形」】

自分のペースで学習

①

- 自分のペースで、個別学習を進めていくことには慣れてきている。(個別、グループ、教科書、三角定規等を使用など学習形態や使用するものを選んで進める)
- 課題が明確になっている児童は、意欲的に取り組んでいた。

②

- あいまいな知識をうまく取り上げていた。
- 子どもの発言を大切にしながら、ポイントをついた切り返しがよかった。
- 子どもの発言を図に表し、子どもの？を引き出すことで次時の学びにつなげるようにしていた。
- 発言を待って受け止める温かさが子どもに安心感を与え、自分なりの学びを進めていくベースになっている。(学級づくり)



【3年生 算数「1より小さい数を表そう」】

1

- ・導入で児童と一緒に児童が主役の問題を作っている。
- ・折り紙を使って線を引いたり、折り目をつけたり、はさみで切ったり試行錯誤をしていた。
- ・ノートに自分の考えを計算式で書いている児童がいた。
- ・授業を聞きたい雰囲気があった。
- ・友達の意見を聞きに行っていた。



○

2

- ・友達の意見を聞ける場や折り紙を用意していた。



子どもの発言や行動を認める

教科書を見ながら・・・



参考・見本の提示

【4年生 算数「四角形」】

1

- ・今までの学習を使ってデザインしていた。
- ・四角形が三角形で構成されていることを自らしきつめて考えていた。

2

- ・見本を見せる。
- ・学びのとちゅうで方向性が変わったときに教師が提示・説明をし方向修正をした。
- ・個別の対応。
- ・子どもたちに基本的な知識をつけさせて活用させる力が必要。



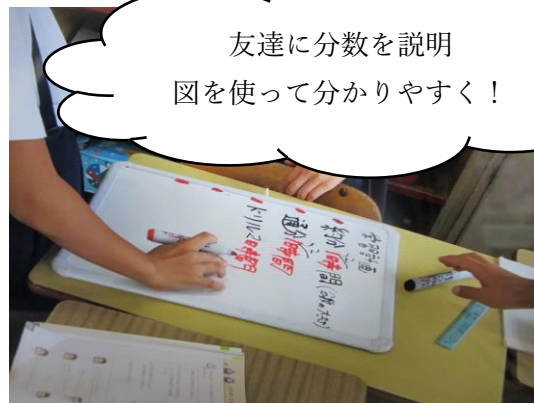
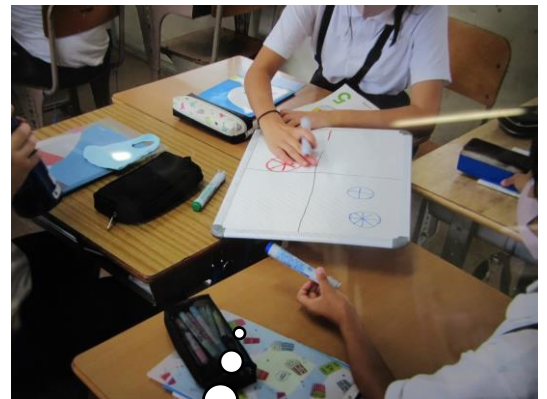
【5年生 算数「分数のたし算とひき算」】

1

- ・既習の内容とこれから学習する内容とのズレを生み、どうすればこれからの学習ができるのかグループで考えていた
- ・子どもたちの「え?どうして?」からのグループで「なぜそうなるのか」を説明し合う姿が活発だった。

2

- ・教師が進めるところと児童が考えるところを明確にして、子どもの言葉で説明させていた。
- ・子どもたちが自然に考えることのできる温かい雰囲気があった。(学級づくり)
- ・4年生までに学習することを確認することによって「どうだったっけ?」という思いが生まれていた。



友達に分数を説明
図を使って分かりやすく!

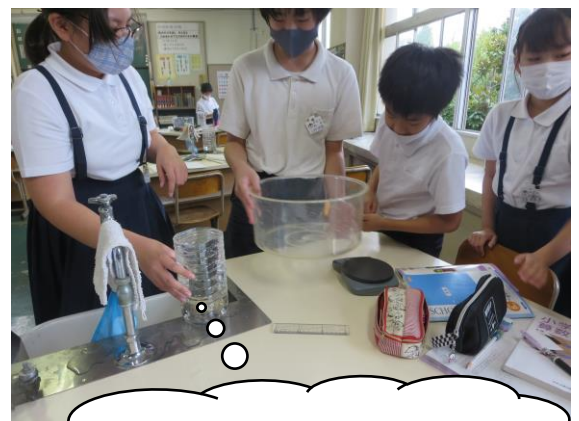
【6年生 算数「およその面積と体積を考えよう」】

1

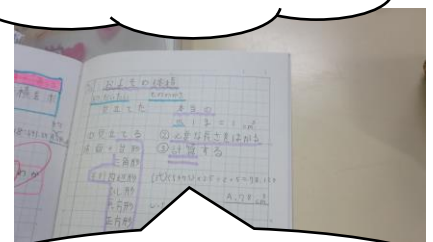
- ・石の体積を求めるために、多様な方法で必要な長さを測ろうとしている姿(形をノートに写す, 定規で囲む, およその形の図を描くなど)
- ・およその体積と実測値の差が多い理由を考えようとしている姿
- ・もう一度体積を測定しようとしている姿
- ・友だちと求め方を考え, 声を掛け合いながらチャレンジしていた姿

2

- ・事前に準備をしておくが, 実際には全部提示しない。
(早めに児童に投げかける, 必要に応じて, 児童の様子を見ながら提示する)
- ・偶然に起こったことを, 内容と結びつけるための声かけや切り返し
- ・より近い値を求めるような声かけ
- ・「この単元でつきたい力」は何かを考え, 教科書の流れにプラスして, 子どもが体感できるような教材を工夫したこと



多様な方法で活動



記録したり, 計算したり・・・
必要に応じてノートをとる。

【沖本学級（知的 1） 生活単元「立体に興味を持とう」】

1

- ・箱の形を自分で選んでいた。
- ・友達作品を見に行き、自分もチャレンジしていた。
- ・デイでの経験を生かしてハサミを使っていた。
- ・初めてのことに自分からチャレンジしていた。



分かったことは学年を超えて教え合い

2

- ・失敗も紹介することで学びも深まっていた。
- ・学年や個に応じた課題を与える。
- ・具体物をたくさん用意していた。
- ・大きさにほめる。
- ・「相談してみたら？」声掛けの仕方。



授業をしてくださった先生方、ありがとうございました！

校長先生には、「子どもの学び」についてお話していただきました。子どもたちが生きた知識を獲得するためには、自分で探したり、自分で発見したりすることが大切で、教師は子どもたちが学びに向かう環境づくりや手立てを考えていかなければなりません。子ども一人一人をしっかりと見取りながら個に必要な支援をすることが大切です。教師の役割を常に問いながら子どもたちの考えたい！学びたい！をこれからも大切にしていきたいと思います。

先生方の感想（明日から生かしていきたいこと）抜粋

- ・一人一人の学びを大切に生きた知識になるような発問を考え、個別にしっかり見取り対応していく。単元全体を見通して子どもたちとゴールを考えていきたい。
- ・この授業で子どもはそれぞれ何を学ぶのかを教師自身がはっきりとをもって授業にのぞむべきだと感じました。
- ・児童一人一人が活動中にどのようなことを考えているのかを見取り、児童の様子に合わせて臨機応変に対応していけるよう意識したい。
- ・遊びや日常生活の中から学びを深められるようにしていきたいと思います。
- ・提示することを最小限にし、児童に任せる。
- ・日頃から子どもが「問いを立てる」ことを意識して授業実践していく。



すぐに取り入れられることは取り入れ、先生方の実践を共有していきましょう！

次回の研究授業は、10月8日（木）です！

1-1, 2-3, 3-1, 4-1, 5-3, 6-1, 岡田学級 よろしくお祈りします。